

平成 30 年 8 月 24 日
四国電力株式会社

米国オハイオ州における天然ガス火力発電事業への参画について

当社は、米国オハイオ州における天然ガス火力発電事業に参画することとし、同プロジェクトの事業会社であるサウス・フィールド・エナジー社へ出資いたしました。当社にとってはカタール、オマーンでのガス火力発電、チリ共和国における太陽光発電に次ぐ 5 件目の海外発電（I P P^{※1}）事業であり、北米では初の案件となります。

本件は、オハイオ州コロンビアナ郡において、高効率ガスタービンを採用したコンバインドサイクル発電方式の発電所（出力 118.2 万 kW）を新設し、米国における卸売電力市場の一つである P J M^{※2}を通して米国北東部に電力を供給するものです。運転開始は 2021 年を予定しております。

当社では、海外事業を「次なる成長エンジン」の柱の一つと位置付け、今後も、国内電気事業や海外 I P P・コンサルティング事業で培ってきた運転・保守などの技術・ノウハウを活用するとともに、本件を足掛かりとして、地域や発電方式の対象を拡げることにより、引き続き、海外 I P P 事業を積極的に展開してまいります。

※1 I P P : Independent Power Producer 独立系発電事業者、卸供給事業者

※2 P J M : 米国最大の卸電力市場、正式名称は PJM Interconnection LLC

[別紙] 米国オハイオ州 天然ガス火力発電事業の概要

以 上

◇米国オハイオ州 天然ガス火力発電事業の概要

1. プロジェクト概要

事業会社名	サウス・フィールド・エナジー社
所在地	米国オハイオ州コロンビアナ郡 (最寄の主要都市ピッツバーグから北西に約50km)
出力	118.2万kW
共同出資者	当社(約8.9%) 株式会社日本政策投資銀行・昭和シェル石油株式会社 ^(注1) (約27.2%) 九州電力株式会社(約18.1%) Advanced Power社 ^(注2) NH Amundi社 ^(注3) ほか
発電方式	ガスコンバインドサイクル発電 (ガスタービン:GE社製)
燃料/供給	天然ガス/米国内シェールガス田からの調達
売電先	PJM(米国最大の卸電力市場)
商業運転開始	2021年(予定)

注1: 2社による共同参画

注2: 米国・欧州における発電案件の開発事業者(本社:スイス)

注3: 韓国農協銀行グループ(Nong Hyup financial Group)の資産管理会社

2. プラント建設予定地と発電所全景

